

自分の身は自分で守る

9月1日「防災の日」(学校では避難訓練実施)を前に、8月の「子供安全の日」(20日実施)は、各家庭で「地震」について考えてもらう機会としました。

以下の三つについて話し合ってもらいました。

- 1 家で、地震が起きたらどうしますか？
- 2 家で、大人がいないとき地震が起きたらどうしますか？どこで、大人と会えるようにしますか？
- 3 登下校中に地震が起きたらどうしますか？



297件の家庭(38%)から回答があり、右の「保護者の皆様の感想から」分かりますように、各家庭で充実した話し合いが行われた様子がうかがえました。

今後も、各家庭において、子供自身が考え、自分の身は自分で守ることができるように、話し合いや訓練の機会をもっていただけるようお願い申し上げます。

保護者の皆様の感想から

- ・話をしてみました。正解なのかが私たちにも難しいと感じました。(1年)
- ・もしも地震がきたらどうしたらよいか考えたり、家族で約束事を決めたりするよいきっかけになりました。(2年)
- ・地震について、家族でしっかり話し合ういい機会になった。いざ地震があった時に一人一人が対応できるようにしておきたい。(3年)
- ・改めて、地震発生時に何をするか確認しました。しかし、登下校中など学校や避難所に子供だけで向かわせるのが安全なのか危険なのかケースバイケースだと思いました。子供にその判断を委ねるのは難しい課題だと感じました。(3年)
- ・とにかく落ち着いて頭を守りなさいと話しました。危険箇所も話し合いました。(4年)
- ・こういうことを家族で話しておくことはとても大事な事ですが、その機会がなかなかないため、話し合うきっかけになりました。(5年)
- ・地震以外にも富士山噴火の話等もすることができました。(6年)

「脱・夏休み ~やる気モードに切り替える~作戦」

夏休み明けに心身を整えるのは難しいことです。一日でも早く「学校」のリズムに、「やる気モード」に切り替えられますように、以下の点に御配慮をお願いします。二学期のスタートに際し、心配なことがありましたら、遠慮なく学校へ連絡をお願いいたします。



①規則正しい生活をおくる。

- ・早寝早起きを徹底する。(昼寝をがまんすると、早寝ができるそうです。)
- ・朝食の時間、支度の確認、(手伝いの時間)の時間を確保して起床時刻を決める。
- ・朝食は三色そろったものをしっかり食べる。

②帰宅してからの時間の使い方について確認する。

- ・宿題は、全てにおいて優先する。次に食事と入浴、消灯時刻を確認し、ゲームやTVなどの時間を子供と合意の上で決める。
- ・習い事などの時間がある場合は曜日ごとに決める。

③親の願いを伝える。

- ・2学期での活躍の様子、今年度末のあるべき姿を具体的に伝えてあげてください。そして、その感想を求め、「一緒に目指そうよ!」と声を掛けてください。また、常日頃から、その様子や姿を振り返り、励ましたり、誉めてあげたりしてください。

— 主な行事予定 —

8月24日現在

9月		
1	木	給食開始 4年5時間 リサイクルデー 避難訓練② 委員会 親子読書デー
2	金	2年4時間 3年発育測定 ひばり号
5	月	学校徴収金口座振替日 2年発育測定
6	火	スクールカウンセラー来校 1年発育測定
8	木	ヘルマークデー 朝おとぎ3年・支援級 クラブ3
9	金	普5日課 2年4時間
12	月	おとぎの部屋1年 13:10~2年 13:55~
13	火	6年薬学講座⑤
15	木	リサイクルデー
16	金	授業参観1~3年④、4・5年・特別支援学級⑤、 6年修学旅行説明会⑥ ひばり号 ファミリースポーツデー
20	火	子供安全の日※防犯ブザー点検
22	木	ヘルマークデー 普5日課 1・2年4時間
26	月	3年5時間
27	火	4時間 スクールカウンセラー来校 13:15 下校※6-6 5時間
29	木	朝おとぎ4年・支援級 クラブ4
30	金	2年4時間 1~3年音楽鑑賞教室 ※6-6 5時間

◎御家庭での御配慮をお願いします。

1 新型肺炎ウイルス感染症に

「かからない・うつさない」ために…

- ・(休日も)検温と報告をする。
- ・「3つの密」を避けて感染症を予防する。
- ・自分や家族にかぜ症状や倦怠感が伺える場合は自宅にて待機する。

2 熱中症にならないために…

- ・登下校の際に帽子をかぶること
- ・外に出たらマスクを取ること(ただし人とは2m離れる)
- ・水筒を持つこと
- ・早寝早起き朝ごはん
で体調を整えること



東校舎において、12月まで長寿命化(屋上と壁面)工事が行われています。

南校舎東側百日紅(サルズベリ)が見頃です。ピンク色のこの花、「愛嬌」が花言葉だそうです。本当にかわいらしくしばし見とれてしまいます。さて、夏休みを越え、子供たちが学校に帰ってきました。歓声が聞こえる学校はよいものです。「愛嬌」いっぱいの子供たちが2学期にどんな成長を見せてくれるか楽しみです。【文責：教頭 望月】

